

# 東予高校 P T A だより

「感染症の終息を願って」

教頭 渡邊 一郎

日頃より本校の教育活動に御支援・御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。今年度につきましても、新型コロナウイルス感染症対策のため、学校行事への来校者を限定させていただくなど、様々な面で御不便をおかけしております。一刻も早く新型コロナウイルス感染症が終息し、従来どおりの形で学校行事が行えることを願っております。

さて、本校の今年度の重点努力目標は『思いやりの心』を育み、『たくましく生きる力』を培う教育の推進―生徒と共に創造していく活気に満ちた学校づくりを目指して―です。この目標を達成するため、生徒たちは学習活動や学校行事、部活動に、日々熱心に取り組んでいます。中でも工業科の課題研究や生産部の活動は本校ならではの取組であり、毎日の鍛錬を積み重ね、技術を向上して、ものづくりコンテストや競技会に積極的に出場しています。また、昨年度からの継続事業である職業学科等連携推進ネットワーク校における魅力化推進事業では、東予高校工業科、丹原高校園芸科学科、小松高

校ライフデザイン科が連携し、地域PR商品として「多肉植物寄せ植え」を製作、販売いたしました。東予高校は木箱・モルタル植木鉢の製作を、丹原高校は多肉植物の栽培、寄せ植えを、小松高校はパッケージアレンジ、店舗運営をそれぞれ担当し、文化祭等で販売いたしました。残念ながら本校の文化祭は生徒と教職員限定となったため授業公開日に展示するに留まりましたが、第三回PTA実行委員会に出席された実行委員の皆様にお声を掛けさせていただいたところ、多数御購入をいただきました。誠にありがとうございました。（私も個人的に購入し、席の横に飾っています。ほぼ手入れ不要なのがあります。・・・）

今後も、地域から信頼され、地域に貢献できる学校づくりをしていきたいと考えております。これからも、保護者の皆様や地域の方々の御理解と御協力を、どうぞよろしくお願いいたします。



国民体育大会を終えて

本校弓道部から第77回国民体育大会に出場し、見事遠的優勝を成し遂げた機械科3年 藤田夏望君、電気システム科3年 大澤孝佑君にインタビューを行いました。

インタビュアー：（以下イ）

国体優勝を決めたときの気持ちはいかがでしたか？

藤田君：（以下藤）

運が良かったです。終盤まで競っていて、勝つ気もないし、負ける気もない、練習通りに最後まで行けたのが良かったです。

大澤君：（以下大）

僕もそう思います。鈴木先生をはじめ、各先生方にも感謝しています。イ：家族の方の反応はどうでしたか？  
藤：スマホで結果を見たよ！みんなに感謝しようね！と。

大：とにかく喜んでくれました。

イ：勝利の秘訣みたいなのはありますか？

藤：欲を出さないことを心がけていました。

大：僕もいつもそうやってきました。ずーっと波なくやって、淡々とした感じでいくと結果につながりやすいです。

です。

藤：いつも淡々よね（笑）

大：まあね（笑）

藤：あとは、一言でいえば鈴木先生のおかげです。

大：僕もそうです。

藤：当たらない時に、こうした方がいいよと指導を受けて、その通りやったら直るし、当るんです。

大：言われたようにできたら、いけるんです。

イ：先生、すごいですね！お家の方に、今だから言える、伝えたいことはありますか？

藤：実は、四国大会の時にミスを連発してしまい、熱が入らずにこんなのでいいのかと悩んでいた時に、母が「今まで自分にきつすぎたんじゃない？勝った時くらい喜んでいいんじゃない？」と言われて。慢心しないように！と常に思っていたのですが、その声かけで力が抜けて、もう一回やれました。ダメになって心が折れた後だったので、あの声かけで立ち直れました。感謝です。

大：先生にも言っていないのですが、実は国体練習で松山に行った時に「掛け」（防具）を忘れまして。お母さん持ってきてくれん？て、こっそり電話したんですが、文句も言わずに



すぐに持つてきてくれました。本当に優しいなあと、感激しました。伊…優しいお母さんですね！今後は弓道はどうされるんですか？  
 藤…弓道は趣味で続けていきます。国体で、成人の方のエグさが分かりました（笑）  
 伊…そんなに違うんですか？  
 大…野球でいえば、高校生とプロ選手ぐらい違いますよ。それは抜きにして、本当にみんなとやる弓道が楽しかったです。仲間に恵まれました。藤…みんな仲良かったもんね。  
 伊…良い雰囲気ですよ。最後に、後輩にエールをお願いします。  
 藤…自信をもって、練習を信じて、試合に臨んでください！  
 大…先生の言うことを聞いて、練習してください！  
 伊…ありがとうございます！



2学期行事を振り返って  
 ① 体育祭



② 東高祭 & バラ観賞会



③ 耐久徒歩大会